

## 第5回（平成23年11月期）番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成23年11月30日（水）17:00～18:00

2. 開催場所 会議室

3. 委員の出席状況

委員総数 7名

出席委員 7名 西修・正岡健二・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男・為岡務・平川愛恵

放送事業者側出席者 金 千秋、平野由美子

4. 議題

番組審議

第5回審議番組：

「ステーションキャンペーン～コミュニティ放送局の運営から排除される外国人住民」  
(60分)

11月6日(日) 21:00～22:00 放送

11月11日(金) 22:30～23:30 再放送

話し手：神田裕／日比野純一、司会進行：金 千秋

2011年4月、FM わいわいが運営母体を株式会社から特定非営利活動法人に移行するにあたり、在日外国人に差別的な電波法の壁にぶつかった。

そこで、法改正を求めていく取り組みを広く発信するためにステーションキャンペーンとして番組を制作した。これは、その第1回目である。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

### 【平川愛恵委員】

- ・ 伝えたいことはとてもよく理解できた。一方的に現在の状況を強い口調で言うのではなく、FM わいわいの歴史を振り返り、携わった人たちの声を紹介するなど、話し手のお二人が考えを丁寧に訴えていたことに好感を擁いた。応援していきたい。

### 【正岡健二委員】

- ・ 技術的なことも改善されていて聴きやすかった。
- ・ 番組担当者がベテランの三人であるし、押し付けるような雰囲気もなく、構成もわかりやすかった。
- ・ 日本人と日本に暮らす外国籍の人たちの相互扶助のムードが芽生えてきていると思うし、これをきっかけに、メディアのあり方、コミュニティ放送のあり方を問うことが全国に波及していくことを期待する。

### 【為岡務委員】

- ・ 一つ一つ内容を確認しながら聴いた。立ち上げの経緯は知らなかった。
- ・ この内容の番組に音楽を挿入する必要はないように感じられた。
- ・ 人に伝えるという行為は責任を伴う。自分たちがこれからどうしたら、何ができるかと思いながら聴いた。

【山本幸男委員】

- ・ 間に入る音楽が長かった。
- ・ 内容は聴きやすかった。硬い話題なのに笑えるシーンがあって、さすがだと思った。

【木辻清子委員】

- ・ FM わいわいのできた頃を思い出しながら聴いた。内容はよくわかった。
- ・ 1時間は長かったが、間に入る音楽で少し休めた。

【萩尾利雄委員】

- ・ FM わいわいの歴史と NPO 法人への移行の経緯がわかりやすかった。
- ・ 神田さんの口調がゆったり、ほんわかしているのがよかった。
- ・ 多文化社会での市民のあり方、コミュニティラジオとは何かを考える方が先ではないか？
- ・ 外国人が放送局の運営に参加できないというが、参加できないと運営できないのか？外国人が入る、入らないでどれだけの差があるのかということに疑問を感じる。どうしても必要なら、淡々と作戦を練っていけばよいと思う。

【西修委員長】

- ・ 神田さんは職業柄さすがに話すのが上手いし、声も聴きやすかった。
- ・ コミュニティ放送局の仕事は、9割がコミュニティ、まちづくりの仕事で、残り1割が放送業務ということにはとても納得できた。
- ・ やはり60分は長いと感じた。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 2011年7月9日に開催した「NPO法人エフエムわいわい出発の集い」で電波法改正に取り組んでいくことはご説明させていただいている。
- ・ コミュニティ放送は広域放送とは違うということを訴えていきたい
- ・ 「ぼくたちは何ができるか」とおっしゃっていただけることが嬉しく思う。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

- ・ 担当者に連絡（平成23年12月）

8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日

- ・ 公表内容…議事の内容
- ・ 公表方法…自社放送（平成23年12月17日12:00～13:55の番組内で放送）  
事務所に議事録の備置き（平成24年1月31日）  
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>

9. その他参考事項

特になし

以上